

粕谷美里（助教）Misato Kasuy, Assistant Professor
研究トピック Research Topics

共感・気づき・行動を支援する次世代インタラクション技術の社会実装

研究テーマ①
遠隔支援技術を活用した
安心・共調を生むインタラクション支援の実装研究

- ・ 生体情報（視線・音声・表情・ふるまいなど）に基づく状態把握
- ・ 状態把握に基づいた、発話・動作・非言語的ふるまいの自然な支援設計
- ・ 乳幼児・高齢者へのインクルーシブな介入と評価

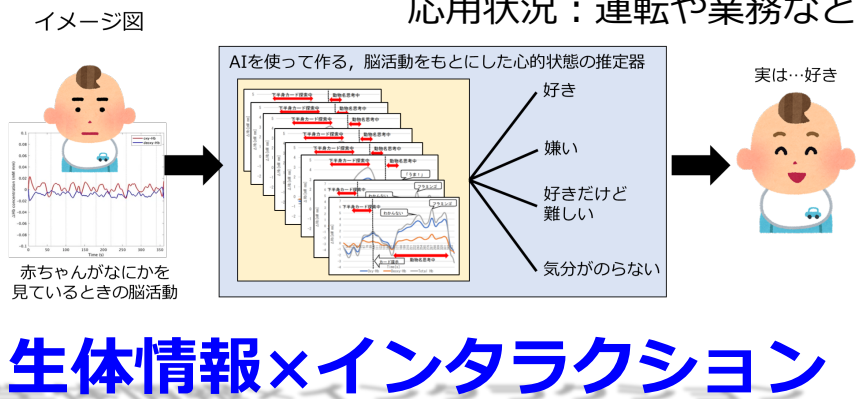
応用分野：育児・介護・教育など



研究テーマ②
内部状態推定による
内発的動機付けを促す状況適応型インタラクション研究

- ・ ストレスや集中状態の推定（脳波・脈波・表情など）
- ・ 状況に応じて適応するインタラクション（人・AI・ロボット）による心理的支援
- ・ 高負荷環境（業務・運転等）での行動変容や動機づけの促進

応用状況：運転や業務などの高負荷環境に



キーワード：
生体情報・非言語情報による感情推定／インクルーシブな支援（乳幼児・発達特性のある人）／安心・共調を育むインタラクション／“わかってくれる”関わりの設計と評価

企業連携イメージ
教育・介護・在宅支援ソリューションへの展開
自動車・ウェルビーイング製品との共同開発
UX評価／状態推定アルゴリズムの提供／行動促進型UIの開発

粕谷美里（助教）Misato Kasuy, Assistant Professor
研究上の興味・疑問 Research Interests & Questions

他者理解と行動変容を促す「インタラクション」の本質とは？

背景・問題意識

- ・ 人と人、人とシステムのインタラクションは、単なる情報交換を超えて、共感・動機づけ・関係性の形成に関与する。
- ・ コミュニケーションに支援を必要とする人（乳幼児、発達障害者など）との関わりや、高負荷な環境における状態変化を扱うには、「心の動き」に即したアプローチが必要。
- ・ 生体情報・非言語情報を活用することで、内面の状態や感情を推定・応答するインタラクションが可能になる。

学術的な問い

- ◆ 「他者の存在」や「自分の状態」は、どのようにインタラクションに反映され、行動を変容させるのか？
- ◆ 生体情報を用いたインタラクションは、どこまで“わかってくれる”関係を築けるのか？
- ◆ 遠隔インタラクション技術は、対面と同等の社会的関係性を生み出せるのか？

研究アプローチ例

- ・ EEG / NIRS による神経応答の時系列解析子ども
- ・ 高齢者との自然対話観察実験
- ・ トピックモデル分析による主観・認知変化の可視化

